

放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム(RaMSEP)

このプログラムは放射線災害の全時相に対応できる人材養成の教育コースの一環として開講するものである。履修者は、所属する学位プログラムの必修科目と本プログラムで定める科目を履修する事とする。なお、本プログラム履修者は放射線災害医療に関わるe-learningを自由に聴講することができる。このプログラムは、本学独自のプログラムであり、プログラム修了者には『放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム修了認定書』を交付する。

〔履修方法・修了要件〕

分野/コース/領域等		放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム (RaMSEP)	
科目区分	科目群	条件または科目名	修得単位数
医学関連科目	基礎科目	必修「医学研究概論」(1単位)	11 ┌ └13
		必修「医学セミナー」(3単位)	
		必修「医学特殊研究」(2単位)	
		必修「医学特別演習」(5単位)	
	専門科目	必修「統合医学研究特論」(2単位)	2
		必修「放射線健康リスク管理学」(4単位)	9
		必修「放射線災害医療学」(2単位)	
		必修「放射線科学 -その基礎理論と応用-」(1単位) (*4)	
		必修「課題解決型放射線科学演習」(2単位)	
		選択「診断医学物理学講義」(2単位)	8～ (*5)
		選択「治療医学物理学」(6単位)	
		選択「保健医学物理学講義」(2単位)	
		選択「基礎医学物理学」(6単位)	
		選択「臨床研究と統計学」(1単位)	
		選択「臨床試験論」(2単位)	
		選択「医生物統計学概論」(1単位)	
		選択「医生物統計学特論」(2単位)	
		選択「医生物統計学実習」(2単位)	
		選択「疫学特論」(1単位)	
		選択「臨床外科学特論Ⅰ」(2単位)	
		選択「臨床外科学特論Ⅱ」(2単位)	
		選択「臨床外科学演習Ⅰ」(2単位)	
		選択「臨床外科学演習Ⅱ」(2単位)	
修了単位数		30	

【修了要件】

- ① 審査制度の確立している学術雑誌に英文の原著論文 1編以上を筆頭著者として出版すること^{*1}。
- ② 本プログラムの定める必修科目及び選択科目を合わせて30単位以上を修得すること^{*2}。
- ③ 中間評価に合格すること^{*3}。
- ④ 学位審査に合格すること。
- ⑤ 4年以上在学すること。ただし、特に優れた研究業績を上げた者は3年以上在学すれば足りるものとする。

*1 症例報告あるいは短い書簡形式報告等は、原則として学位審査資格要件論文とは認められない。学位審査までにacceptされ、印刷中になっていること。博士課程入学前に出版されたものは不可。

*2 標準的には2年次終了時までには修得し終える事。

*3 標準的には3年次前半に施行する。例外的には②を達成後の3年次後半などに施行する場合もある。

【標準的な単位の履修方法】

2年次終了時までには上表の必修科目及び選択科目(※5)から8単位以上、合わせて30単位以上を修得すること。なお、履修については、上記を満たしたうえで、原則として50単位を超えないこと。

(※4) 理工情報生命学術院の学術院共通専門基盤科目として開講

【その他】

- ・本プログラムの修了要件を満たせば、医学学位プログラムの課程を修了することができる。
- ・本プログラムの履修を希望する者は必ず事前に担当教員の承諾を得た上で、所定の手続きを行うこと。

※所定の手続きとは、TWINSでの履修申請に加え、大学院教務へRaMSEPコース履修申請書を提出する事である。(RaMSEPコース専用eラーニングに関する情報伝達のため)